

江戸時代から崇拝される足腰の神
へいたまだいごんげん
平玉大権現 **MAP②**



五味ヶ谷の木立の中に、凛とたたずむ平玉大権現(「ひらたま大権現」とも呼ぶ)。石造りの鳥居は、約200年前に建てられたものと言われています。古くから足腰の守護神として崇拝され、現在も、社殿にわらじや履物が奉納されています。

東市民センター／五味ヶ谷自治会館 (徒歩約6分)



格式高い脇道の稲荷様
すみつ いなり
お墨付き稲荷 **MAP①**



武蔵野の面影を残す高倉の屋敷林。その外れに、鮮やかな朱色の鳥居とともに稲荷神社がまつられています。京都の伏見稲荷をこの地に勧請した大変格式の高い稲荷神社で、伏見稲荷からお墨付きをもらっているというのが名前の由来だと言われています。

新町二丁目(徒歩約2分)



開山500年の古刹と市指定天然記念物
みつぎじげんじくろはいまつ
三ツ木慈眼寺黒這松 **MAP④**



真言宗智山派の寺院、普門山蓮華院慈眼寺。古文書「新編風土記稿」にも語られ、開山は500年以上と推測される古刹です。境内の黒這松は、樹齢300年以上と言われています。その名のとおり、地を這うような独特で力強い樹形をしており、市の天然記念物に指定されています。

三ツ木自治会館(下車すぐ)



古代の暮らしに思いを馳せる
つるがおかいなりじんじやこふん
鶴ヶ丘稲荷神社古墳 **MAP③**



住宅街である、松ヶ丘三丁目の境児童公園内にある古墳。この周辺からは、3基の古墳が発見されました。中でも、この稲荷神社古墳は1辺が40mもある大きなもので、現在は復元した石室を見ることができます。

境児童公園(下車すぐ)

レトロで雰囲気◎な“映え”スポット?!
旧第一小学校/旧第二小学校校舎
MAP⑤ **MAP⑥**

鶴ヶ島市文化財整理室(写真右)と、東市民センターの陶芸工房(写真左)は、それぞれ、第一小学校と第二小学校の旧校舎を使用しています。昭和初期に建てられた2つの建物は、当時の面影を残すクラシカルなたたずまい。レトロで懐かしい雰囲気が漂います。ここで写真撮影したら、SNSで映えること間違いなし!!



東市民センター (下車すぐ)



鶴ヶ島第一小学校(徒歩約2分)



つるがしま

特集

レトロトリップ



今月の「広報つるがしま」では、今年1月に実施した広報読者アンケートで多くのリクエストをいただいた「鶴ヶ島市の歴史や史跡」などについて特集します。無形文化財の「脚折雨乞」や「高倉獅子舞」のほかにも、鶴ヶ島市には素敵な歴史や文化などがたくさん!あまり知られていない見どころを中心に、鶴ヶ島市の魅力をご紹介します。

問合せ 秘書広報課 広報広聴担当



まずはココから! 鶴ヶ島市の誕生

明治22年4月、上広谷村・太田ヶ谷村・三ツ木村・三ツ木新田・藤金村・五味ヶ谷村・戸宮村・大塚野新田・脚折村・高倉村・町屋村・上新田村・中新田村・下新田村の12村2新田が合併して、新たに「鶴ヶ島村」が誕生しました。この合併により、旧村名は大字となり、今でも市内の多くで当時の村の名称が大字名として使われています。その後、昭和17年に大字戸宮が坂戸市に編入されたことで、現在の鶴ヶ島市の区域が形作られるとともに、地名の変更などを経て今に至ります。



鶴ヶ島村役場

便利お得 つるがしま
お出かけには、
「1日フリー乗車券」
土・日・祝日に限り、1日中、
全路線で乗り降り自由です。
料 大人500円、小学生200円
つるバス・つるワゴンの車内などで購入できます。
問 都市計画課 交通政策担当

太古の
ロマン

つるがしまのイセキ

発掘調査の現場に行ってみました！



昔の人々が生活していた痕跡は、地上だけではありません。土の中に埋もれた文化財は埋蔵文化財と呼ばれ、鶴ヶ島市内にはおよそ100箇所の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)があります。地下に残された生活の痕跡が開発行為でやむなく壊されてしまう場合、事前に記録保存のための発掘調査を行います。発掘調査を行うことで、鶴ヶ島で過去に暮らした人びとの生活の文化や様子など、鶴ヶ島の歴史を掘り起こすことができます。



串が立っているところは全部「土器」や「石器」

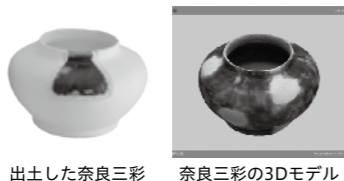


遺物は1点1点、位置と高さを記録 カマドからは大量の土器が見つかることも



こんな大発見も！

若葉駅の北側にある「若葉台遺跡」は、鶴ヶ島で一番の大集落。奈良・平安時代に地方豪族が住んでいたと考えられる遺跡で、畿内の中央政権しか生産できない高級陶器「奈良三彩」が見つかりました。県内では11点しか見つかっていない奈良三彩ですが、この若葉台遺跡から3点、下新田の羽折遺跡から1点、市内からなんと計4点が出土しています！全て破片でしたが、中央政権との繋がりを示す貴重な資料であるため、令和4年に鶴ヶ島市の指定文化財となりました。市の図書館HP「デジタル郷土資料」から、復元品の3D画像を見ることができます。



出土した奈良三彩 奈良三彩の3Dモデル



令和元年に発掘調査を行った若葉台遺跡Z地点

一緒に発掘調査をしませんか？

市内の発掘調査を行う「鶴ヶ島市遺跡調査会」では、発掘調査などに従事する作業員を募集しています。詳細は、鶴ヶ島市遺跡調査会またはハローワーク川越までお尋ねください。
■募集期間：令和5年3月17日(金)まで
■定年制：あり(一律65歳)
■電話：285・8262(遺跡調査会) 242・0197(ハローワーク川越)



発掘業界での一輪車の呼び名は「ネコ」。1m以上の堀に掛けられた足場を渡ることも。



夏の炎天下でも休みません。テントで日陰を作ったり、扇風機を使いながら作業を進めます。

読者からの
質問

長久保小学校や長久保通りにある「長久保」ってなに?!



「長久保」は、かつて大字脚折にあった地名(小字)です。昭和59年、長久保周辺は区画整理事業で「脚折町二丁目」という新しい町名となり、長久保の地名は消えてしまいました。市では、かつての地名を忘れないよう、この地に建った小学校に長久保の名を付けました。市内では同様に、学校や公園、橋、交差点などに、昔の地名を用いたものが多くあります。気になる名称があれば、ぜひお尋ねください。

あわせて知りたい! 地名の由来 - 脚折 -

「脚折」は、日本で鶴ヶ島にしかない大変珍しい地名です。名称の由来には諸説ありますが、昔この地にあった急な坂道で「足の骨を折った」ことから名付けられたという伝承があります。

つるがしまに、
もう一つの鉄道路線があった!

市内には、昭和38年から59年まで、もう一つの鉄道路線が運行していました。「西大家貨物線」といい、越生線の西大家駅付近で分岐して、日高市にある日本セメント埼玉工場(現:太平洋セメント)へと走る、専用の貨物線です。現在でも、町屋地内では、線路の跡を確認することができます。鉄道ファンの方が訪問して、その様子をインターネットで発信するなど、実は隠れた人気スポットです。



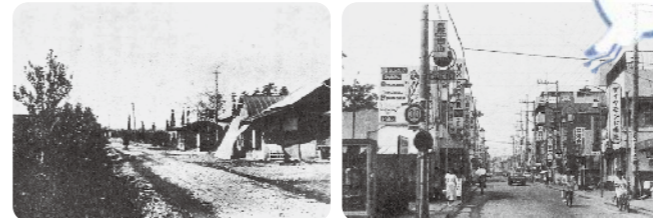
踏切の
なごりも!

町屋転回所(下車すぐ)

もっとステキな
マチになる!

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想を策定します

鶴ヶ島駅通りの様子(同所で撮影)



◀ 昭和30年頃 ▶

◀ 昭和60年 ▶

もっと
教えて!

つるがしまのコト

知るほどに、つるがしまをスキになる!
これであなたもつるがしまニア!



つるがしまに
弁財天が祀られている!

MAP⑦

仏教の守護神で、七福神の一員としても信仰される「弁才天(弁財天)」。実は、市内にも、江戸時代に建てられた弁財天が存在します。まつられているのは、太田ヶ谷沼。沼の守り神として、200年もの間、沼のほとりで人びとを見守っています。



柳戸町/菜の花保育園(徒歩約7分)

つるがしま最初の駅は、鶴ヶ島駅だった!

鶴ヶ島駅が開業したのは昭和7年。村の玄関口として、発展の基盤となりました。その後、駅周辺は目覚ましく発展し、多くの住宅が立ち並ぶとともに、早くから商店街が形成されました。昭和60年頃には、鶴ヶ島駅通りに商店街が形成されています(下写真中央)。

